

そう だい
総 題 「ヨハネによる福音書の主題」



いとうひろし
伊藤裕史

はじめに

これまで「三位一体の神」という言葉を聞いたことがありますか。ヨハネによる福音書ではこの「三位一体の神」、子なるイエス様と父なる神、聖霊の神との関係についても書かれています。



だいじゅういち か ちち こ せいれい
第 1 1 課 父、子、聖霊

いち あんそくにちご
1. 安息日午後

あんしょうせいく
[暗唱聖句]

しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。(ヨハネ 14 : 26、新共同訳)

この聖句で「わたし」はイエス様のことです。この聖句の中には聖霊の神がどのように私たちのところに来てくださったかが書かれています。聖霊の神は父なる神によって、イエス様の名によって来てくださっているのです。父、子、聖霊の神は決して別々に働いておられるわけではないのです。

に にちようび てん ちち かみ
2. 日曜日：天の父なる神

はじ かみ てんち そうぞう そうせいきいち : いち
「初めに、神は天地を創造された」(創世記 1 : 1)

これは、初めに、父と子と聖霊は天地を創造された、ということを言っています。つまり、一緒に働いておられたことを私たちに示しています。だからアダムとエバは最初父と子と聖霊の神と一緒にいたことになります。



一緒にいると考えると次の聖句はよく理解できるのではないのでしょうか。

わたしが父の内におり、父がわたしの内におられることを、信じないのか。わたしがあなたがたに言う言葉は、自分から話しているのではない。わたしの内におられる父が、その業を行っておられるのである。(ヨハネ 14 : 10)

さん げつようび ちち かみ
3. 月曜日：イエスと父なる神

昨日学んだように、創世記は父、子、聖霊の神とアダムとエバが関係を持っていたことを教えています。しか

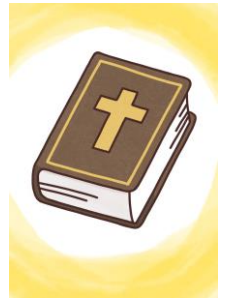


し、罪が神様と人との関係を壊してしまったのです。しかし神はすぐ「どこにいるのか。」
 (創世記3：9)と探しに来てくださいました。また今から2000年前にイエス様は私
 ちを救うために地上に来てくださいました。イエス様は「わたしと父とは一つである。」(ヨ
 ハネ10：30)とおっしゃっています。いつも 私たちのために近づいてくださっている
 のは父なる神と子なる神なのです。

4. 火曜日：御子を知ることは、父なる神を知ること

ヨハネによる福音書の著者ヨハネは、子なる神であるイエス様と父なる神との関係をまず
 伝えようとしています。私たちがイエス様を通じて受け取るものは、イエス様だけからのもの
 ではなく、父なる神からのものでもあるからです。

イエスは答えて言われた。「わたしの教えは、自分の教えではなく、わたしをお遣わしにな
 った方の教えである。(ヨハネ7：16)



5. 水曜日：聖霊

ヨハネによる福音書では聖霊の神はあまり目立っていません。しかしその役割はイエス様の働きの
 中で大切なものです。

イエスはお答えになった。「はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ること
 はできない。(ヨハネ3：5)

霊の神は私たちを生まれ変わらせる働きをさせています。

弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたし
 が話したことをことごとく思い起こさせてくださる。(ヨハネ14：26)



私たちが神様のことを知り、信じる時に働いて下さっています。そして、

わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護
 者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたの
 ところへ送る。(ヨハネ16：7)

イエス様が天へ戻られた後、聖霊の神がイエス様にかわって私たちを助けて下さ
 っているのです。

6. 木曜日：イエスの祈り

ヨハネによる福音書17章はイエス様の祈りです。そして別れの説教の最後の部分です。一度ゆっくり読
 んで見ましょう。この祈りの中で、イエス様が強く望んでおられることは何だと思ひますか。

永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知るこ
 とです。(ヨハネ17：3)

イエス様はご自分を通じて父なる神を信じることを望まれています。水曜日で学んだようにそのためには聖霊の神の働きが必要です。イエス様はこの祈りで、父と子と聖霊の神様がいっしょになって私たちのために働いておられることを伝えて下さっているのです。

7. 金曜日：さらなる研究

私たちは「イエスは神の子」を理解するためにヨハネによる福音書を学んでいます。この三位一体の神（父、子、聖霊の神）を理解することは難しいかもしれません。イエス様への祈りを通じて、聖霊の神の導きをお願いしましょう。イエス様は父なる神に願っておられます。

わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにして下さる。
この方は、真理の霊である。（ヨハネ 14：16，17）

「助け主は『真理の霊』と呼ばれている。」（『各時代の希望』 7 3 章）

学びを振り返る質問：

- 1 父、子、聖霊の神はお互いの中で愛の関係を持っておられましたが、人を創造されました。なぜ、人を創造されたのでしょうか。考えてみてください。
- 2 皆さんがお祈りをするとき、誰に対してお祈りをしているでしょうか。父なる神、子なるイエス様、聖霊の神の誰をイメージしていますか。今週の学びを終わって、それは変わりましたか。